



敦賀港で「みなとふれあい教室」を開催

敦賀港のフェリーターミナルで平成26年7月14日に、敦賀港湾事務所と防波堤工事受注者が「みなとふれあい教室」を開催し、敦賀港に近い敦賀西小学校5年生41名に、フェリーの船内見学、港の学習及び稚魚放流の体験を通じて、港の役割や「海・港」への親しみ・関心を高めてもらいました。

児童は、フェリー「すずらん」に乗船し、客室や普段は入れない操舵室等を見学し、その豪華さや大きさに感動した様子でした。

また、フェリーターミナルで、敦賀市漁協の刀根参事、そして当事務所の西田課長が講話を行いました。西田課長からは「港が生活にとって重要な役割を果たしている」ことなどの説明を行い、港の大切さを認識してもらいました。

その後、親水性護岸フェリオスにおいて、鯛の稚魚1,400匹を児童が網とバケツを使用し、海へ放流しました。



フェリー操舵室にて機器等の説明



ターミナル内にて西田課長の講話



鯛の稚魚を捕まえている様子



鯛の稚魚を放流している様子